corega Tap HUB8L
10M イーサネット HUB
取扱説明書

この度は、corega Tap HUB8L をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。
また、お読みになった後も、大切に保管してください。

製品概要

corega Tap HUB8Lは、10BASE-Tポートを8ポート装備したリピーター(=ハブ)で、小規模のネットワーク構築に最適です。

- 軽量かつコンパクトなボディサイズ
- マグネットやマウンティングプレートで垂直面への設置可能
- 電源内蔵型
- カスケード接続用ポートを 1 ポート装備
- ネットワークや機器の状態が一目でわかるLED表示機能付き

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。
万一、欠品または不良などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- corega Tap HUB8L 本体
- 取扱説明書(本書は製品保証書もかねております)

再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時とおなじ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

① Power(緑)
電源が正しく供給されているときに点灯します。

② Collision(赤)
コリジョンが発生した場合に点灯します。

③ Link(緑)
ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。
このLEDは、各ポートごとに用意されています。
カスケードポート(HUB ポート)のFull LEDは、ポート 1(PC ポート)と共用になっています。

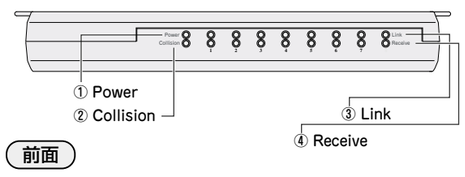
④ Receive(緑)
パケットを受信すると点灯します。
このLEDは、各ポートごとに用意されています。
カスケードポート(HUB ポート)のFull LEDは、ポート 1(PC ポート)と共用になっています。

⑤ カスケードポート
本製品を他のリピーターやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用のポートです。
このポートはポート1と共用のため、ポート1を使用している場合は使用することができません。

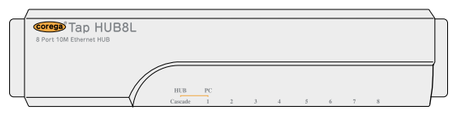
⑥ 10BASE-T ネットワークポート
RJ-45 型のモジュラージャックです。10BASE-T の UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続します(UTP ケーブルの両端に取り付けられたコネクターのことをRJ-45 型モジュラープラグと言います)。

ポート1はカスケードポートと共用のため、カスケードポートを使用している場合は使用することができません。

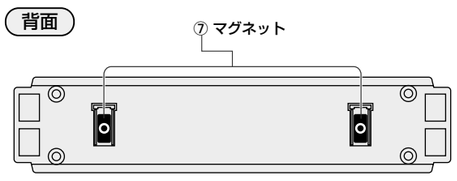
上面



前面



背面



下面

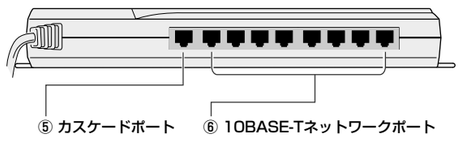


図 1　外観図

⑦ マグネット
本体背面のマグネットを使用すると、本製品を簡単にスチール面へ取り付けることができます。
設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。

ケーブルの重みにより、機器が落下しないように確実に取り付けてください。落下により、ケガの原因となることがあります

設置するまえに

□ 設置場所
本書裏面の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

□マグネットによる取り付け
本体底面のマグネットを使用すると、簡単に金属面へ取り付けることができます。
設置の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合がありますので、ご注意ください。

高所や振動、衝撃の多い場所への取り付けは避けてください。
また、本体やケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付けてください。
落下などによりケガや機器破損の原因となることがあります。

マグネットを使用して OA デスクなどに取り付けたまま、機器をずらしたり、引きずったりしないでください。
表面の塗装などに傷がつくおそれがあります。

マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去されるおそれがあります。

マグネットを使用してパソコンやディスプレイなどの電子機器に取り付けないでください。

接続のしかた

□ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また本製品同士をカスケード接続するケーブルの長さは**100m**以内にしてください。
また、ケーブルはカテゴリ 3以上のUTP ケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

□起動と停止

図 2 のように電源コードの電源プラグを AC100V のコンセントに差し込むと起動します。
電源プラグをはずすと停止します。

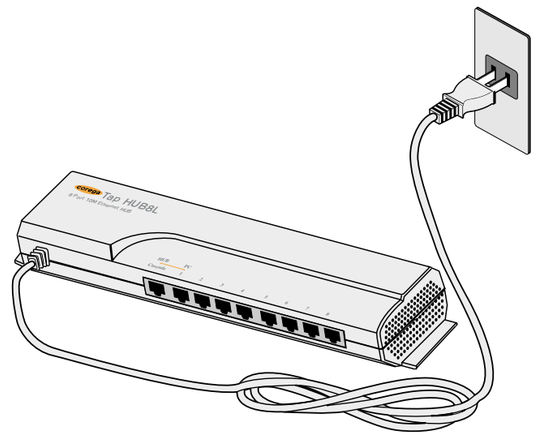


図 2　電源コードの接続

□接続手順

1. 本体前面の10BASE-Tポートに UTPケーブルを接続します。
2. ネットワークに接続する端末に 10BASE-T ネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTP ケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
4. 本体上面の Power LED が点灯することを確認します。UTP ケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートの Link LED が点灯します。

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。本製品と端末間の UTP ケーブルの長さは **100m** 以内にしてください。

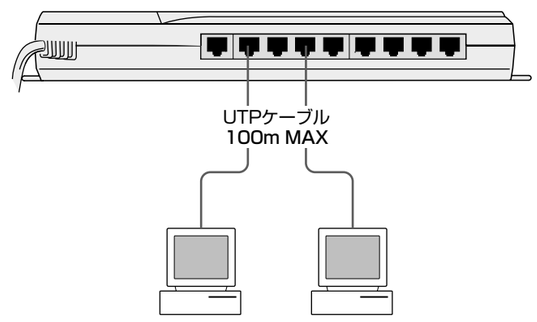


図 3　スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポートを使用すると、クロスタイプ のUTP ケーブルを使用しなくても、他のハブやスイッチと簡単にカスケード接続することができます。

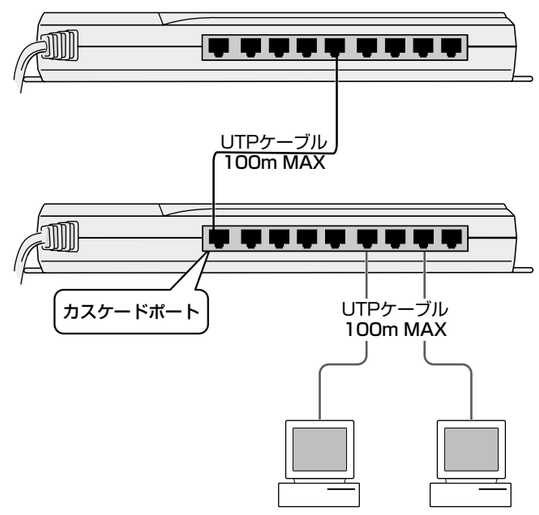


図 4　カスケード接続

1. 本製品のカスケードポートにUTP ケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
   ポート1はカスケードポートと共用のため、カスケードポートを使用している場合は使用することができません。
2. UTPケーブルのもう一方の端を接続先のハブの通常のポート(MDI-X)に接続します。

ADSL/ケーブルモデムとの接続

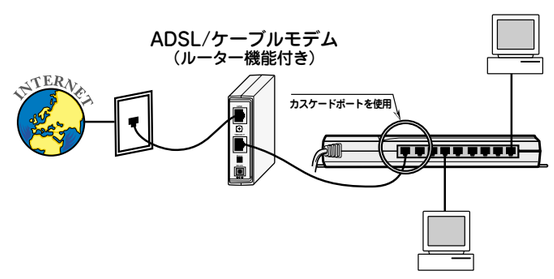


図 5　ADSL/ ケーブルモデム接続

カスケード接続の段数の制限

リピーター(=ハブ)は、最大4台までカスケード接続することが許されています(これは通信が正常に行われるようにするためのルールであり、IEEE 802.3 によって規定されています)。
図6のように5台以上のハブをカスケード接続しないでください。
ポートの数を増やすためにハブのカスケードを行う場合は、図6のように数珠つなぎにするのではなく、図7のようにスター型の構成にすることをおすすめします。

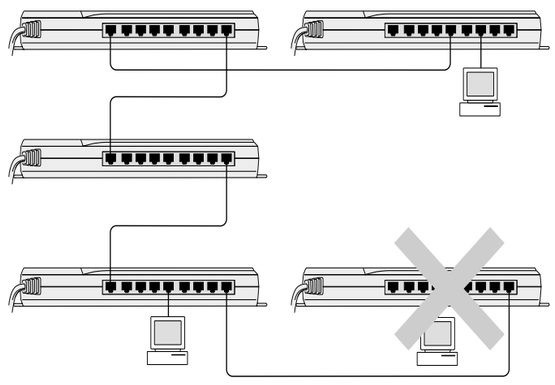


図 6　カスケード接続の段数を超えた例

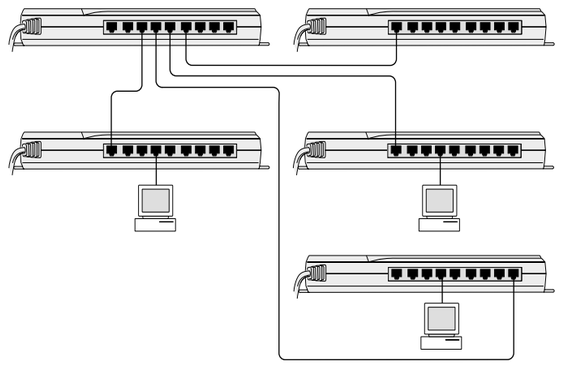


図 7　スター型構成にしたカスケード接続

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

□ Power LED は点灯していますか？

Power LED が点灯していない場合は、AC アダプターの DC プラグやACプラグが正しく接続されているか確認してください。
なお、本製品に電源スイッチはついていません。

□ Link LED は点灯していますか？

Link LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているLANアダプターに障害がないか、LANアダプターに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。ケーブルの不良は外見からは判断しにくいため(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。
- ポート1とカスケードポートを同時に使用していませんか。ポート 1 とカスケードポートは共用のため、両方を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

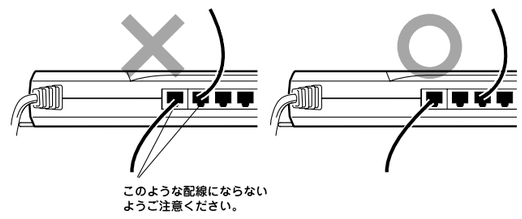


図 8　ポート 1 とカスケードポート

- カスケードポートを確認してください。本製品と他のリピーターやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと、他のリピーターやスイッチの通常の 10BASE-T ポートを接続してください。
- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- リピーターの数が制限を超えていないか確認してください。カスケードできるリピーターの台数は 4 台までとされています。

コネクターの仕様

10BASE-T ネットワークポートは、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックを使用しており、以下のような結線になっています。

(1)	RD＋	受信データ(＋)
(2)	RD－	受信データ(－)
(3)	TD＋	送信データ(＋)
(4)	---	未使用
(5)	---	未使用
(6)	TD－	送信データ(－)
(7)	---	未使用
(8)	---	未使用

推奨ケーブル

10BASE-T ケーブル
UTP ケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable =シールドなしツイストペアケーブル)をご使用ください。10BASE-Tでは、カテゴリー3、4、5 のケーブルを使用することができます。

※コレガ社製ケーブルをご使用される事をおすすめします。

製品保証書 (1年保証)

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名	corega Tap HUB8L
シリアル番号 (S/N)	
ご購入日	
製品保証に関するお問い合わせ先	**corega サポートセンター** **TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294** 住所：〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20 受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 月～金（祝・祭日を除く）
販売店様印	

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

PN J613-M2739-00 Rev.A 021106

製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3
電源部（本体）	
定格入力電圧	AC90～110V 50/60Hz
平均消費電力	2.5W
平均消費電流	500mA
環境条件	
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(結露なきこと)
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下(結露なきこと)
外形寸法 (本体)	
	240(W)×56(D)×30(H)mm
重量	
	330g(本体のみ)
適用規格	
EMI規格	VCCIクラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

保証と修理について

☐ **保証について**

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

☐ **修理について**

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、右の「調査・修理依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。
- 修理期間は、製品到着後、約10日程度（弊社営業日数）を予定しております。
- 修理期間中における代替え交換機等は弊社ではご用意しておりません、予めご了承下さい。

☐ **製品送付先**

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-19-20
（株）コレガサポートセンター宛

※製品のお持込みによるサポートは受け付けておりません。

coregaの情報を知りたいときには

当社のホームページに、最新情報や製品についてのＱ＆Ａなどを掲載しています。どうぞご利用下さい。

● corega のホームページにアクセスして下さい！
http://www.corega.co.jp

● 「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」はコレガ社がお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など、耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客さまは、coregaホームページでご登録ください。尚、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査・修理依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査・修理依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: **045-476-6268**
月～金（祝・祭日を除く）
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: **045-476-6294**

＊ 番号はお間違えのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。

調査・修理依頼書のご記入のお願い

調査・修理依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウェアについて

＊ 製品名、製品のシリアル番号（S/N）、製品リビジョン（Rev）を調査・修理依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

（例） S/N 000770000002346 Rev AA

お問い合わせ内容について

＊ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。
＊ エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

＊ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
＊ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2002 株式会社コレガ

商標

coregaは、株式会社コレガの登録商標です。

2002年11月 Rev.A 初版

調査・修理依頼書（corega Tap HUB8L）

年 月 日

一般事項

1. 会社名(個人名)：　　フリガナ：
部署名：　　ご担当者：
ご連絡先住所：〒

TEL :(　　)　　FAX :(　　)

2. 購入先：　　購入年月日：
購入先担当者：　　購入先 TEL :(　　)

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名： corega Tap HUB8L

S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

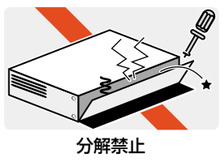
2. お問い合わせ内容　☐別紙あり　☐別紙なし
☐設置中に起こっている障害　☐設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図　☐別紙あり　☐別紙なし

安全のために　必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。


分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほこりの多いところ　油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

交流 100V の電源でお使いください
異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電圧注意

付属のACアダプター以外で使用しない
火災や感電の原因となります。
必ず、付属のACアダプターを使用してください。

付属品を使え

ACアダプターのコードを傷つけない
火災や感電の原因となります。

傷つけない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

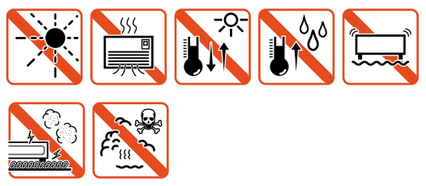
たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所



取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）

シンナー類禁止

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。
・ハードウェア本体　：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。
（但し、本規定の他の条項に準じます。）
・本体付属品　：３ヶ月保証
■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。
■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。
■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。
■製品保証書は、日本国内のみで有効です。
■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。